

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

387

観光誘客対策事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	2	観光客の誘致
取組方針	4	観光客消費喚起の仕組みづくり

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
	中事業		観光誘客対策事業	

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	観光課	南方 盛治 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	観光客に和歌山市の魅力伝え、京阪神や関西から近い観光地「和歌山市」をアピールする。		集客力のあるイベントの実施や、国内外からの観光客誘致のための施策を行う。また、和歌山市観光協会を「稼ぐ」観光の中核組織と位置付け、官民一体となって、マーケティングによる戦略を基に観光資源の磨き上げやプロモーションの強化を図る。			
事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	
	○竹燈夜・食祭・市民茶会の開催 ○和歌山市観光客実態調査の実施 ○国内外プロモーション等誘客事業の実施 ○和歌山市観光協会への補助	○竹燈夜・食祭（市民投票イベント）・市民茶会の開催 ○和歌山市観光客実態調査の実施 ○国内外プロモーション等誘客事業の実施 ○和歌山市観光協会への補助 ○宿泊促進事業補助金 ○ナイトタイムツアー造成事業の実施	○竹燈夜・市民茶会の開催 ○国内外プロモーション等誘客事業の実施 ○和歌山市観光協会への補助 ○温泉PR事業の実施 ○宿泊促進事業補助金 ○サマータイムレング関連事業の実施	○竹燈夜・市民茶会の開催 ○国内外プロモーション等誘客事業の実施 ○和歌山市観光協会への補助 ○温泉PR事業の実施 ○サマータイムレング関連事業の実施 ○観光地活性化計画（まちやど構想）の策定	○竹燈夜・市民茶会の開催 ○国内外プロモーション等誘客事業の実施 ○和歌山市観光協会への補助 ○温泉PR事業の実施 ○サマータイムレング関連事業の実施 ○観光地活性化計画（まちやど構想）の策定	○竹燈夜・市民茶会の開催 ○国内外プロモーション等誘客事業の実施 ○和歌山市観光協会への補助 ○温泉PR事業の実施 ○サマータイムレング関連事業の実施 ○観光地活性化計画（まちやど構想）の策定

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	54,764	57,233	59,309	97,577	41,378	96,974	46,973	0	46,973	0	
伸び率(%)	△28.7%	△14.3%	8.3%	70.5%	△30.2%	△0.6%	13.5%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	31,169	34,391	33,998	32,485	33,045	34,597	32,890	0	32,890	
	正規職員以外	3,308	3,628	1,233	1,644	2,247	2,247	2,247	0	2,247	
	小計	34,477	38,019	35,231	34,129	35,292	36,844	35,137	0	35,137	
国庫支出金	16,516	19,413	19,242	65,790	11,044	69,547	12,660	0	12,660	0	
県支出金	0	200	2,500	2,500	2,300	2,300	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000	0	
一般財源(税等)	38,248	37,620	37,567	29,287	28,034	25,127	24,313	0	24,313	0	
所要人数(人)	正規職員	3.87	4.27	4.27	4.08	4.26	4.46	4.24	0.00	4.24	0.00
	正規職員以外	1.37	1.51	0.61	1.23	0.62	0.62	0.62	0.00	0.62	0.00
主な予算内訳	観光協会事業補助金17,342千円、観光協会運営補助金13,042千円、宣伝委託料4,000千円										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	観光キャンペーンによる県外広報活動	件	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	19	7	7		
			達成度(%)	31.7%	11.7%	11.7%	%	%
活動指標	雑誌等掲載	件	目標値	45	45	45	45	45
			実績値	26	43	37		
			達成度(%)	57.8%	95.6%	82.2%	%	%
成果指標	年間宿泊者数(暦年)	万人	目標値	101	102	104	105	107
			実績値	102	65	74		
			達成度(%)	100.1%	63.7%	71.2%	%	%
			目標値	7,000	7,030	7,060	7,090	7,120
成果指標	年間観光客数(暦年)	千人	実績値	6,904	4,468	4,653		
			達成度(%)	98.6%	63.6%	65.9%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	新型コロナウイルス感染症の影響により、成果目標については達成できなかったが、アフターコロナを見据え、国内外へのプロモーション活動などにより、誘客に取り組む。
見直し・改善内容	ターゲットを絞った誘客を図るため、効率的な誘客活動について研究していく。